

偽装…再生紙の古紙配合

マンション問題総合研究所

理事長 喜田大三

年賀はがきで偽装が発覚

日本郵便は、約40億枚の年賀はがきを発売。

この再生紙はがきは、環境に配慮し、古い紙を40%配合と定めています。

1月8日、テレビは「古紙は1〜5%しか使われていない」と衝撃的な報道。

翌日、はがきを最も多く納入している日本製紙、やや遅れて製紙大手4社も、無断で古紙を少なく配合したと発表。古紙配合率40%は偽装。

昨年の世相は漢字の「偽」

昨年は、ひき肉、白い恋人、赤福、船場吉兆。身近な食への信頼を揺るがす「偽装」が発覚。また、年金記録や政治資金などでも庶民が偽りにふりまわされた1年でした。

新年早々、紙の「偽装」

環境大臣は「消費者は環境に配慮して購入、それを裏切る行為だ。非常に残念だし、

怒りも感じる」と発表。

グリーン購入法と再生紙

二〇〇一年、国の機関や自治体などが、環境に配慮した物品を率先して購入するように、『グリーン購入法』が施行されました。

紙類について、コピー用紙は古紙配合率100%、印刷用紙は70%以上。

グリーン購入法の用紙は、また一般市販の再生紙も、公称・表示の古紙配合率が偽装。実際の古紙配合は少ない。

私の名刺には、古紙配合率100%使用のマーク。念のため調査、古紙は僅か2%。誇りにしてきたエコマークは偽装、削除、誠にくやしい。

再生紙偽装の今後

製紙メーカー 関連機関・消費者者にお詫び。偽装の実態を調査し、偽装の原因、責任の所在、再発防止策に取り組んでいます。

日本製紙連合会 外部の有識者も参加して、原因を究明し、対策案を6月にまとめるようです。

日本郵便 年賀はがきを偽装され、6月に結論をだす。

環境省 『グリーン購入法』

の古紙配合率の基準見直しを7月以降に実施することをきめた。

古紙のリサイクル

ここで、リサイクル問題にくわしい東大名誉教授安井至先生の見解を紹介。

古紙配合は、環境へ相反する二面性があります。

森林資源の節約では、古紙配合率を増やす。

一方、紙製造時、化石燃料由来の地球温暖化ガスの排出量は、古紙配合率と共に増加。地球温暖化防止では、古紙配合率を減らす。

さらに、紙再生工程で、繊維が傷つき品質が悪くなる。再生回数に限度がある。

その結果、紙の繊維が2・5回使用できるとして、古紙配合率はトータルで60%程度が良いと考えています。

むすび

古紙リサイクル時代 古紙配合率が偽装された。産官学のまとめを監視。次号へ。



納得、安心のできる管理

- ☆ 総合管理の受託から自主管理の応援まで
- ☆ 管理組合のニーズに合った管理システム
- ☆ 木目の細かい対応が出来ます

日本高層管財株式会社

本社東京都渋谷区代々木1-19-12新代々木ビル4階 〒151-0053
TEL 03-5388-4471(代) FAX 03-5388-6463